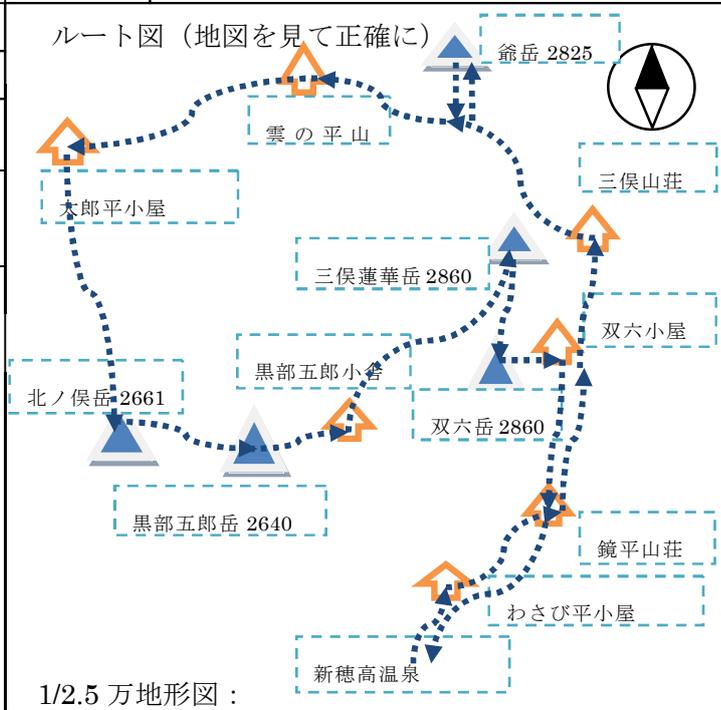


7月度 例会 山行報告書		報告者	油井 武	参加 メンバー	CL: 青山 武 SL: 塚本英吾、 記録: 油井 武
7月度 個人 山行報告書		報告日	7月30日		
山城	北アルプス	山行日	11年7月22日(金) ~		
山名	雲の平と周辺		7月27日(水)		
山行目的	雲の平とその周辺の夏山を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



7/22 曇り、時々晴 4:00 刈谷発 8:00 新穂高温泉着 9:00 同上発(登山開始) 10:23 わさび平小屋着 14:50 鏡平着	7/25 曇り 5:48 太郎小屋発 7:40 北ノ俣岳着 10:00 中の俣乗越着 11:28 黒部五郎岳着 14:20 黒部五郎小舎着
7/23 曇り時々晴れ 4:10 鏡平発 6:30 双六小屋着 10:00 三俣山荘着 11:03 黒部川源流石碑 13:00 翁岳直下分岐 14:13 翁岳ピストン 14:55 雲の平山荘着	7/26 曇り 5:00 黒部五郎小舎発 6:52 三俣蓮華岳頂着 8:25 双六岳頂上着 9:33 双六小屋着 12:25 鏡平山荘着
7/24 晴れ 5:53 雲の平山荘発 8:30 薬師沢着 10:15 左俣出合 12:25 太郎小屋着	7/27 曇り 7:08 鏡平山荘発 9:45 わさび平小屋着 11:00 笠新道分岐 11:30 新穂高温泉着 13:10 新穂高山荘発 17:30 刈谷着

〈山行報告〉六号大型台風一過、晴天とはならず曇り空、現地の道路情報などを掴み、予定どおり刈谷を4時に出発した。新穂高^山無料駐車場には、4時間に到着、百台程の駐車あり、雲が厚いので雨支度をして出発。笠新道分岐まで1時間で正常ペース。わさび平小屋ではオーナーの子息小池岳彦氏に挨拶し先に進む。秩父沢の仮橋で雪渓から吹き下ろす冷風に癒され更に高度を上げイタドリヶ原、シシウドヶ原、熊の踊り場を過ぎるとやがて鏡池(2303m12℃)に出た。そこから約3分で鏡平山荘(2300m11℃)に到着し第1泊目とした。

第2日目は山荘を4時に立ちヘッドランプを頼りに弓折れ乗越し(2590m12℃)。途中のお花畑にはシナノキンバイ、ハクサンイチゲなど高山植物が花ざかりであった。双六小屋で挨拶し三俣山荘へ巻き道をゆく。三俣山荘で一服し急坂を下ると、黒部川源流標のある沢を通過。そこからは翁岳に向かって急登する。『いじ』もあって翁岳をピストンし、やっとの思いで本日の目的地、雲の平山荘に到着祝杯をあげた。

第3日目雲の平~太郎小屋は一旦薬師沢へ急坂を降るところが、この旅の最大の難所で一時間余り格闘を強いられた。薬師沢小屋を過ぎると、木道が続きニッコウキスゲの群落が綺麗であった。第4日目: 太郎小屋~黒部五郎小舎は登山道の損傷が酷いところがあり水の浸食で背丈ほどの溝が掘れ更に登山者の靴で益々傷んでおり、心を痛めながら歩いた。

第5日目: 黒部五郎小舎前で3年毎に咲くというコバイケソウが今年は当たり年でその大群落を後に三俣蓮華を経て双六岳、そして鏡平に向かう。途中沢山の花の写真を撮り、鶯の声も録音しゆったりとした気分です。夏山を堪能した。鏡平山荘では山岳写真家で高名な大石高志氏と同室、いろいろなことを大いに語り合った。第6日目: わさび平小屋でオーナーの小池潜氏に会い、各山小屋でお世話になった札を述べて下山した。

〈リーダー所見〉あしかけ3年がかりで計画した念願の山旅を、実現することが出来て大満足。今回は黒部川源流を一回りしたコースであったので、小池新道を始めとしていろいろな登山道を歩き、つぶさに観察することが出来た。お花畑と対照的に、傷みの激しい道もあった中、以前に気付かなかった小池新道の素晴らしさを、改めて実感すると共に代々小池一家のご苦労とご尽力に感謝しながらの山旅であった。



双六岳をバックに巻道と中道の分岐にて左から塚本、油井、青山'11/7/26

確認
(リーダー)
青
青山 8/5
作成(報告)
油
油井 8/5